

# 横浜初 再生プラスチック原料の製造事業をスタート

～使用済みプラスチックの再生から循環につながり、脱炭素化への貢献～

- 廃棄物の燃料化事業を行う株式会社グーン(本社:神奈川県横浜市金沢区 代表:藤枝慎治)は、このたび、使用済みプラスチックからプラスチック再生原料の製造、いわゆる材料から材料へのマテリアルリサイクルの事業をスタートします。
- これまで設備設置工事や試運転などすすめてきましたが、一定の目途が立ち、11月28日にオープニングセレモニーを開催します。
- 使用済みプラスチックは、焼却処分に伴う温室効果ガスの排出、海洋プラスチック問題など地球レベルの課題となっており、国においてもプラスチック新法の制定などその対策に取り組んでいます。
- 当社はマテリアルリサイクルをきっかけにプラスチック製造・販売・物流などの事業者様と連携し、排出される使用済みプラスチックの「循環の見える化」「資源循環の形成」、さらに脱炭素化に貢献します。

## 【オープニングセレモニーの詳細】

場所:株式会社グーン 本社工場 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町2丁目17

日時:令和4年11月28日 午前10時～午前11時 ※受付30分前

取材にお越しくださる報道機関におかれては本紙下部へ、事前の問い合わせをお願いいたします。

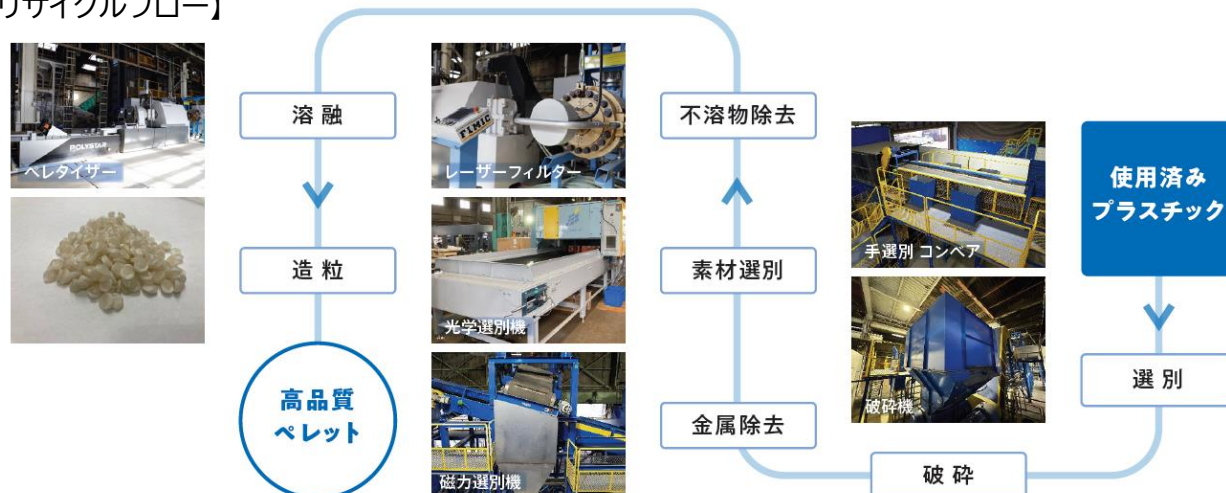
## 【事業概要】

設備容量 : 最大10.78t/日(ペレット製造)

導入機能 : 破碎、光学による素材選別、レーザーフィルターによる微細な異物除去、ペレット化

事業費 : 約3.5億円

## 【リサイクルフロー】



本件に関するお問い合わせ先

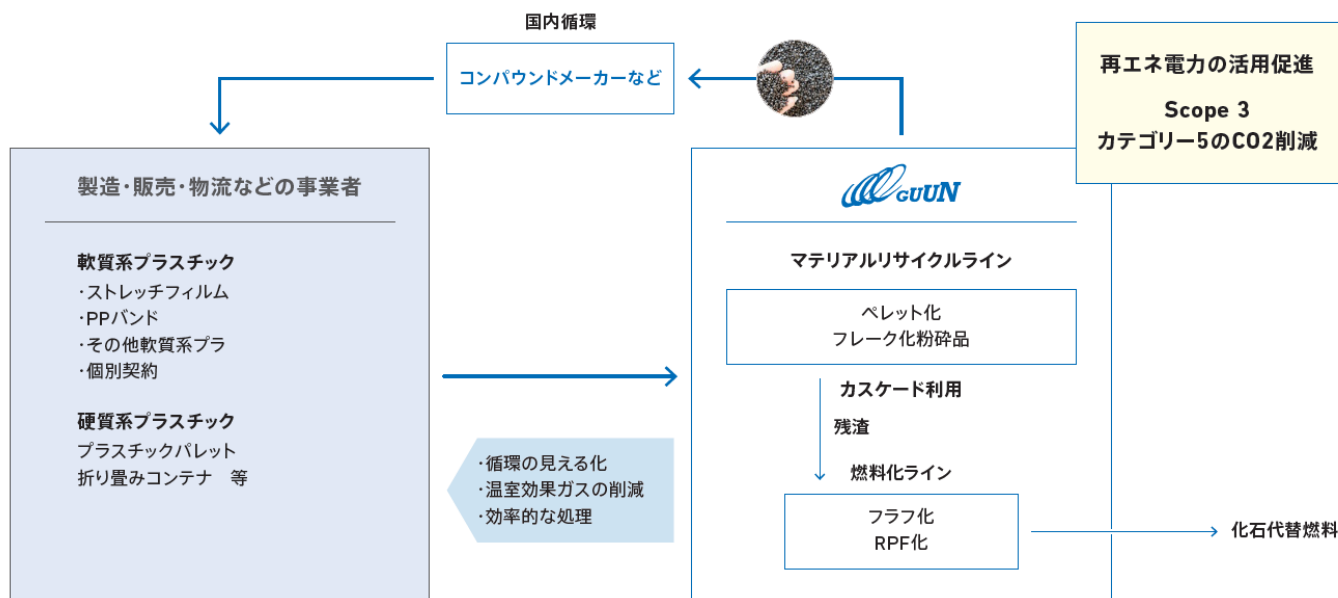
<会社名>株式会社グーン

<所在地>みなとオフィス:神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10F

<連絡先>TEL:045-228-8960 FAX:045-228-8961 MAIL:k\_ikeda@guun.co.jp

<担当者>ブルーエコノミー研究所 池田桂太郎

【目指すべき循環のすがた】



【3つのポイント】

1 多品種のプラスチックの受入れ

マテリアルから燃料化ラインまでを備えており、性状が多岐にわたる製品の受入れが可能

2 より高品質な再生ペレットづくり

風力による選別、フィルターによる異物除去など最新鋭の設備により、高品質なペレットを製造

3 排出事業者との連携

製造、販売、物流などの皆様とともに、廃棄後の資源循環を考慮し、安定的なリサイクル化を実現

【カスケード利用によるゼロ残渣】

マテリアルリサイクルでは、その再生工程に適せず、一定量の残渣が発生してしまいます。当社は、これらの残渣を直接焼却せず、フラフラインに搬入し、石炭代替燃料として活用します。こうしたカスケード利用により、外部へ残渣を持ち出すことなく対応ができます。

本件に関するお問い合わせ先

<会社名> 株式会社グーン

<所在地> みなとオフィス: 神奈川県横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 10F

<連絡先> TEL: 045-228-8960 FAX: 045-228-8961 MAIL: k\_ikeda@guun.co.jp

<担当者> ブルーエコノミー研究所 池田桂太郎